

さくらの開花のしくみ

さくらは、前年の夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し、休眠状態に入ります。秋から冬にかけて低温（あまり低い温度ではなく5℃前後といわれている）にある一定期間さらされると休眠状態から覚めます（『休眠打破』と呼ばれます）。花芽は休眠打破のあと春先の気温の上昇とともに発育し、開花します。



夏：花芽の形成

さくらの花芽は、前年の夏頃形成される



秋：休眠

冬：休眠打破

一定期間低温にさらされると、開花の準備が始まる



生長

気温が上昇すると、花芽が成長する

花芽の成長が一定以上になると開花する



春：開花

開花とは、花が5～6輪開いた状態のこと。ソメイヨシノの開花は、気温の積算により予測されています。



参考：気象庁 さくらの開花予想方法<http://www.data.jma.go.jp/sakura/data/cb/sakura.html>

関東地方の多くの地点では冬季から春先の気温はまだ休眠打破を行うのに十分低くなっていませんが、九州や四国では気温が高かったため、開花が遅れたこともあります。今後、温暖化や、ヒートアイランドがこのまま進行すると桜の開花が遅れるあるいは無くなる恐れもあるといわれています。

桜の開花は、自然の温度計ともいえ、皆さんも花見を楽しむと同時に、開花の変化を感じて環境の変化も感じていただければと思います。

桜の品種と特性

さくらは交配しやすく、日本の在来の9種と外来の2種の11種からなる種群から多くの品種が作り出されています。山桜や枝垂桜は長寿ですが、染井吉野は成長が速く、早くに花付きが良くなりますが、腐朽しやすく寿命が他の品種と比較して短命だと言われています。さくらは、種（品種）ごとに花の形・色、開花時期、樹形等異なった特性を備えています。

	品種名	写 真	特 性
在 来 種	エドヒガン		花は小輪、一重咲きで淡紅色。開花期は3月中旬。この桜は寿命が長く、山高神代桜（山梨県武川村）や根尾谷の淡墨桜（岐阜県根尾村）は千年以上の年月を経ているといわれています。
	ヤマザクラ		花は中輪、一重咲きで白～淡紅色。開花期は4月上中旬。古来より親しまれてきた代表的な野生の桜です。花とともに展開する新芽の色が様々で、山野の景観を美しく彩ります。
	オオヤマザクラ		花は中輪、一重咲きで淡紅～紅色。開花期は4月上旬。主に関東以北に多く自生している桜で、山桜にくらべ花や葉が大きいことからこの名がつけられ、花色の濃いことや北海道に多いので紅山桜、蝦夷山桜とも呼ばれます。
	カスミザクラ		花は中輪、一重咲きで白色。開花期は4月下旬。北海道南部、本州、四国、朝鮮半島、中国北東部から東部に分布する野生種です。花序の形、花の大きさ、毛の多少などに大きな変異がみられます。
	オオシマザクラ		花は大輪、一重咲きで白色。開花期は4月上旬。伊豆七島や房総半島などに自生する潮風に強い桜です。桜餅の桜の葉には、この桜が使われています。
	マメザクラ		花は小輪、一重咲きで淡紅色。開花期は3月中旬。本州中部のフォッサマグナ地域を中心として分布。富士山、箱根、ハケ岳などの山地に多く生育しています。富士山ろく一帯に多いことから富士桜とも呼ばれます。
	チョウジザクラ		花は小輪、一重咲きで白色。開花期は3月中旬。本州の東北地方から広島県にかけての太平洋側の山地と熊本県の一部に分布する日本固有の野生種です。花が小さいのに比べてがく筒が太くて長めなので、この様子を丁字に見立てて名付けられました。
	タカネザクラ		花は小輪、一重咲きで淡紅色。開花期は4月上旬。北海道、本州中部の亜高山帯から高山帯に多い野生種の桜で、サハリン南部、南千島にも分布しています。
外 来 種	ミヤマザクラ		花は小輪、一重咲きで白色。開花期は4月下旬。日本、朝鮮半島、中国東北区、サハリンなどに分布する野生種で、花柄が長く伸びて総状花序に近くなること、宿存する大型の苞をもつこと、種子の表面に著しい網状の凹凸があることなど、日本の他の桜と比べ特異な存在です。
	カンヒザクラ		花は中輪、一重咲きで濃紅紫色。開花期は3月中旬。中国から台湾に自生している桜で台湾緋桜、緋寒桜とも呼ばれています。花は釣鐘状の形となり花色と併せ独特の雰囲気をもつ桜です。
	シナミザクラ		花は小輪、一重咲きで淡紅色。開花期は3月中旬。中国原産の桜で明治初年に渡来したといわれています。中国では果実が食用として販売されており、品種も多数あります。樹幹に気根が出やすいという特徴があります。

いろいろな桜



枝垂桜：枝垂れ（エドヒガン系）



河津桜：早咲き（自然交雑した野生種）



うっこん：緑花（サトザクラ類*）

*サトザクラとは園芸品種の総称



兼六園菊桜：菊咲き（サトザクラ類）



南殿：八重咲き（チョウジザクラ×八重サトザクラ）



染井吉野（エドヒガン系×オオシマザクラ）